

# コラージュ

品川女子学院  
2年美術授業報告  
2025年度2学期

brother  
at your side

NewMake



品川女子学院  
SHINAGAWA JOSHI GAKUIN

## 100周年記念講座 企業のご協力

品川女子学院創立100周年記念講座協力企業



ブラザー販売株式会社

株式会社ストーリーアンドカンパニー  
コミュニティ事業NewMake

品川女子学院は、2025年に創立100周年を迎えました。

これを記念し、ブラザー販売株式会社さまと株式会社ストーリーアンドカンパニーコミュニティ事業NewMakeさまが、2年生の美術の授業で使う材料をご提供くださいました。

ブラザー販売株式会社さまからは、カラーラベルプリンターをお借りし、2年生全員分のテープもご提供いただきました。

株式会社ストーリーアンドカンパニーコミュニティ事業NewMakeさまからは、廃棄予定の布類をご提供いただきました。

これらを材料の一部として、2年生が美術の授業でコラージュ作品をつくりました。

# 課題

ある日の私の夢

夢の世界をコラージュで表現する。必ずデッサンも組み入れる。

総時間：10時間



生徒作品

## 本課題の目標

<p>「起業マインドを持つ人」を育む5つの力</p>	<p>問題発見力 身近な興味・関心から社会と関わる問題を発見する力。</p>	<p>共感力 感情に左右されず、他者の立場や考えから影響を受けながら、自分の意見を改善する力。</p>	<p>内省力 自分の行動を振り返って分析し、将来に向けた行動を見つける力。</p>	<p>発信力 自分の意見やアイデアを提案し、他者に影響を与える力。</p>	<p>基礎学力 活動のよりどころとなる知識・教養。</p>
<p>本課題で身につける力</p>	<p>コラージュの特性を生かし、現実にはあり得ない夢ならではの主題を生み出せる。</p>	<p>他者の考えや作品に触れて考えたことを言語化できる。</p>	<p>制作に関して興味を持ったこと・発見したこと・考えたことを言語化できる。</p>	<p>コラージュの特性である、現実にはありえない構成を練り、デッサンも活かしながら効果的に配置できる。</p>	<p>体系的に材料を集め、主題を表すために材料や用具を工夫し、創造的に表せる。</p>

# 授業の様子



iPadでラベルのデザイン。  
コラージュの材料の1つとなります。

1人1つ、オリジナルのラベルをつくりました。

この時点では敢えて作品の全体像はつくっておらず、「後日コラージュ作品の一部になる」ということだけがわかっています。

描画アプリ

Adobe Fresco

条件

1.抽象的な絵にする。

NG：具体的なもの・文字・記号

2.画面サイズ 正方形

3.「ライブブラシ」だけつかう。

4.3色以上つかう。

ブラザー販売株式会社さまからお借りしたプリンターでオリジナルラベルを印刷しました。

2枚ずつ印刷し、1枚は自分の作品に、もう1枚はくじ引きでクラスの誰かの作品の一部になります。



自分のつくったラベルが印刷されて、  
とてもうれしそうでした。



株式会社ストーリーアンドカンパニーコミュニティ事業NewMakeさまからいただいた廃棄予定の布類と、印刷したラベルを、くじ引きで受け取りました。

偶然に手に入れた材料をどのように作品に活かすか考えます。

くじ引きで材料を受け取りました。

ラベル・布類のほか、デッサンを1つ、コラージュの材料の1つとして制作しました。

材料がある程度集まった段階で夢のストーリーを考えました。

条件1 「意外性」を組み込む

条件2 「エラー」を活かす

2月にエスパスルイ・ヴィトンでおこなった特別講座で鑑賞したウェイド・ガイTONの作品が、エラーを活かしたものであることを参照しました。

条件2「エラー」を活かす

ウェイド・ガイTON

エプソンの大型インクジェットプリンターにキャンバス布を幾度も通し、モチーフや文字を重ねて印刷していく過程で生じるエラーやインクの液垂れ、ミスプリントが画面全体に広がる構成要素となり、唯一無二の表現を作り出しています。  
([展覧会サイト](#)より)



自分で計画したとおりに材料を集めて制作するのは、別の楽しみがあります。



くじ引きをしてストーリーを考えた日に、ブラザー販売株式会社の中尾果梨さまと、株式会社ストーリーアンドカンパニーコミュニティ事業NewMakeの大場遼平さまが授業見学をしてくださいました。

中尾さまからは、生徒たちのクリエイティブを応援したいと励ましていただき、大場さまからは、他者の物を使ってクリエイトするのはエコですてきなことだというお話を頂戴しました。

協力企業の方が授業見学をしてくださいました。

夢のストーリーに沿った画面をつくっていきます。

美術室は4人1組の机で、ほかの生徒の様子を見て「その方法いいね！私もやってみよう！」と思うことも多いようです。



材料を切り貼りして、非現実の世界をつくります。

作者氏名:	鑑賞者氏名	良かった点・考えさせられた点など	作者からのお返事
		ファスナーを線路みたいにしていたり、ひまわりに顔を描いていてよかったです。	自分の想定してない見方だけで面白く解釈してくれてありがとうございます！
		立体的な物が多くてすごいなと思いました。ひまわりに目が付いているのがいいと思います！	平面だと面白くないなと思って付け足しました！見てくれてありがとうございます！
		ひまわりに顔を描いているところ	意外性を出したくて描きました！見てくれてありがとうございます！！
		ファスナーの使い方がすごかった	たくさん悩んだところなので見てくれて嬉しいです！ありがとうございます♪

作品完成後はお互いの作品を鑑賞してコメントしあいました。

美術は正解が1つではない科目です。作者が考えていなくても、鑑賞者が自由に楽しんで鑑賞します。

完成後はお互いに鑑賞しました。

# 生徒の感想



使ったラベル

NewMakeさまからいただいた布類は、黄色いファスナーがくじ引きで当たりました。

←完成作品

今回は「熱を出した日に見る夢の中」を表現したくて、この作品を制作しました。

熱を出した日は頭がうまく回らず、考えが散らかったような感覚になるため、その状態はコラージュで表すのに合っていると思い、このテーマを選びました。

コラージュは自由度が高く、素材や表現方法に制限がないため、複数の種類の質感の素材を使用しました。また、似た色や似た質感の素材ができるだけ隣り合わないよう配置することを工夫しました。

その結果、意外性のある組み合わせが生まれ、見る人によって感じ方が大きく変わる作品になったと思っています。

## 興味がわく楽しい授業ですか？

Aプリンターでラベルをつくる Bラベルを交換して作品の材料にする C布類をくじ引きで受け取って作品の材料にする 回答数：186人

● とてもそう思う ● かなりそう思う ● 少しそう思う ● あまり思わない



- 自分では選ばないようなものが使えるので意外性を持たせやすかった
- 人のラベルと交換すると自分が思いつかない模様と出会えてよかったと思う。
- プリンターを使うことで作れる作品の幅が広がったと感じました！
- ラベルを作るのは、端末で描いたものを実際にアナログで使えるのが面白いと思いました。
- ラベルの交換をした事で新しく発想できることがふえた。
- 布をもらって、それがクラゲに見えた瞬間にストーリーを思いつきました。
- 企業の方から頂いたものを使う時どこに使えるか考えるのが楽しかった！！
- シールを作れる機械に初めて触って作ったので楽しかったです。タブレットで描いた色々なものがシール状になるのも面白かったです。
- 私は全体的に系統を合わせたり、気付かないうちに似たようなものになってたりすることが多いのですが、今回くじ引きで自分では選ばないような素材を組み合わせることで普段思いつかないようなアイデアが生み出されて新鮮でした。
- 布を使う予定がなかったけれど、NewMakeさんの布を貰ったことで新たに別の布を取り入れることができた
- 提供していただいたジッパーがガラスで共有した時にすごく好評でありがとうございました。提供していただいたもののおかげで作品がよりレベルアップしてより良いものになりました。本当にありがとうございました。
- コラージュといったら折り紙やお菓子の箱などしか選択肢がないと思っていたけれど、布や自作ラベルなどを使うと幅が広がり楽しかったです！

企業に材料をご提供いただいたことで、楽しく学びのある時間となりました。

ブラザー販売株式会社のみなさま、株式会社ストーリーアンドカンパニーコミュニティ事業  
NewMakeのみなさま、誠にありがとうございました。

品川女子学院 美術科